令和３年度 決算報告

令和３年度は、新型コロナウイルス感染症による影響が依然として見通せない状況の中、第５次総合計画に基づき、南海トラフ地震に備えた役場庁舎の非構造部材の耐震化工事、防災行政無線更新工事などの大型工事や町民の安全・安心の確保や健康、福祉に関わる取り組みなど、町民の日常生活に関わる施策を着実に進めることができました。

【一般会計決算状況】

区分	令和３年度	令和２年度	差引額	増減率
歳入（収入）総額	93 億 2,229 万円	95 億 1,296 万円	▲1 億 9,067 万円	▲2.0%
歳出（支出）総額	91 億 6,525 万円	91 億 7,040 万円	▲515 万円	▲0.1%
歳入歳出差引額　①	1 億 5,704 万円	3 億 4,256 万円	▲1 億 8,552 万円	▲54.2%
翌年度への繰越財源　②	4,633 万円	1 億 1,474 万円	▲6,841 万円	▲59.6%
実質収支　①－②	1 億 1,071 万円	2 億 2,782 万円	▲1 億 1,711 万円	▲51.4%

【特別会計決算状況】一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	17 億 9,901 万円	17 億 6,402 万円	3,499 万円
学校給食特別会計	5,838 万円	5,836 万円	2 万円
農業集落排水事業特別会計	3,587 万円	3,587 万円	0 万円
介護保険特別会計	17 億 1,597 万円	16 億 8,491 万円	3,106 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 4,109 万円	2 億 3,704 万円	405 万円
水道事業会計	1 億 9,627 万円	1 億 5,525 万円	4,102 万円
病院事業特別会計	17 億 4,204 万円	17 億 1,602 万円	2,602 万円

（水道事業会計・病院事業特別会計は収益的収支を記載）

◆健全な財政状況

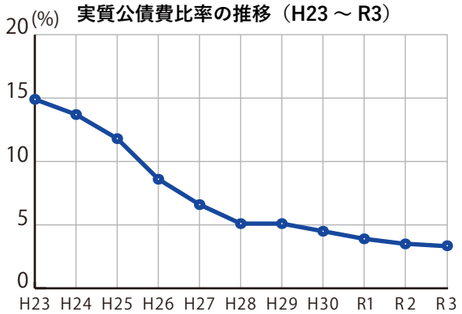
実質収支は黒字であり、健全化判断比率は全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準（早期健全化基準、経営健全化基準）を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持しています。実質公債費比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになりますが、10 年間で 14.9% から 3.3% と大きく改善しています。今後も、道の駅整備や高知県管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域振興策等に係る事業の財源として町債を借り入れる予定ですが、町債の償還金の一部が地方交付税として国から交付される有利なものを活用する等、一時的に償還額が増加するものの今後の償還金が町の財政に大きく影響を与えることはないと見込んでいます。

また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、令和３年度は、後年度の町債の償還金の財源とするため、新文化拠点（仮称）や公共施設の老朽化対策等に備えるため、減債基金と施設等整備基金へ約 6 億 5,000 万円を積み立てました。今後も健全な財政運営を行っていくため、適正な基金残高の維持に努めます。

財政健全化判断比率　危険信号

指標	内容	佐川町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	3.3%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%

実質公債費比率の推移（H23 ～ R3）



【基金（貯金）残高】

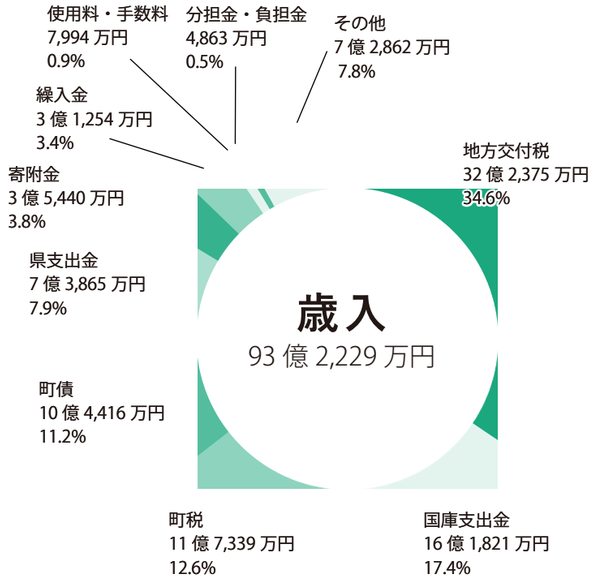
会計名	令和３年度	令和２年度	差引額	増減率
一　般　会　計	56 億 4,470 万円	47 億 5,005 万円	8 億 9,465 万円	18.8%
（うち ふるさと納税寄附金基金）	3 億 6,219 万円	2 億 5,937 万円	1 億　282 万円	39.6%
国民健康保険特別会計	7,128 万円	6,951 万円	177 万円	2.5%
農業集落排水事業特別会計	5,709 万円	5,746 万円	▲37 万円	▲0.6%
介護保険特別会計	2 億 7,069 万円	2 億 5,519 万円	1,550 万円	6.1%

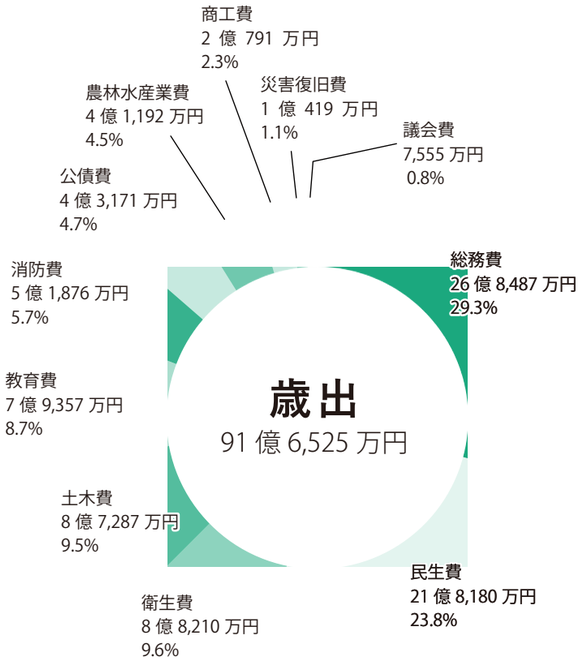
※引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費については、町ホームページにて公表しています。

歳入のポイント

歳入に占める比率が最も高い地方交付税は、令和２年度より 3 億4,745万円増加しました。また、ふるさと寄附は令和２年度より約 1 億 1,161 万円増加しました。特別定額給付金給付事業補助金の減少により国庫支出金は減少しました。

用語の解説
- 地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- 国庫支出金…国からの交付金・補助金
- 町税…町民税・固定資産税
- 町債…長期借入金
- 県支出金…県からの交付金・補助金
- 繰入金…特別会計繰入金・基金繰入金
- 使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- 分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- その他…地方譲与税・諸収入等





用語の解説
- 総務費…財産管理・選挙
- 民生費…高齢者福祉・保育所
- 衛生費…予防接種・ごみ処理
- 土木費…道路・住宅の維持改良
- 教育費…小中学校・文化施設
- 消防費…防災対策・消防活動
- 公債費…借入金の返済
- 農林水産業費…農林業振興・施設整備
- 商工費…観光・商工振興
- 災害復旧費…農林・公共施設災害
- 議会費…議員報酬・議会運営

歳出のポイント

加茂地区における地域振興策や旧四国電力佐川社宅の耐震改修工事により土木費が増加しました。文化センター大規模改修工事の完了により教育費が減少しました。

令和３年度の主な事業

防災行政無線更新事業　2 億 3,988 万円

整備後16年を経過する防災行政無線の安定的な運用を確保し、防災情報等の確実な伝達を行うため、機能強化を伴う機器の更新作業を実施しました。令和2年度に移動系防災行政無線の整備が完了し、令和3年度には同報系防災行政無線を整備しました。

情報自動配信装置の設置、佐川町 LINE 公式アカウントとの連携機能を追加したことにより、災害時における情報の伝達が効果的に行えるようになりました。

龍王公園改修工事　4,029 万円

子育てしやすい町づくりの一環として、子育て世帯の利用が多い龍王公園について、老朽化したトイレの建て替えや既存設備の修繕及び一部遊具の更新を行いました。トイレの建て替えにあたっては、幼少期から木に親しみ、木の良さを感じることを通じて森林の大切さを学ぶことができるよう CLT 材を全面に使用しました。

地域公共交通事業　3,818 万円

住民の移動手段を確保するため「さかわぐるぐるバス」や路線代替バスを運行しています。

令和3年度のさかわぐるぐるバスの1便当たりの乗車人数は2.33人（前年度比+0.2人）と微増となっており、地域の移動手段として欠かせないものとなっています。

あったかふれあいセンター事業　4,629 万円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、町内５カ所（尾川、斗賀野、黒岩、加茂、佐川）で地域のニーズ把握や課題に取り組む活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症対策や集いの方法等を創意工夫することで、前年度より利用者が増加しているセンターもみられました。生活支援件数は、コロナ禍の影響により増加しており、地域の高齢者の生活の支えとなっています。

佐川町道の駅･おもちゃ美術館事業　9,264 万円

地域資源を活用した産業振興・観光振興の拠点となる「まきのさんの道の駅・佐川」とおもちゃ美術館を令和５年度開業に向けて整備しています。

令和３年度は、道の駅の施設ハード整備（実施設計、浄化槽設置工事）と「一般財団法人しあわせづくり佐川」を設立し、運営に係る組織･体制づくりを行っています。

おもちゃ美術館については、牧野博士や植物などをテーマとした基本構想や町内の風景や建物を内装のモチーフとした基本設計を作成しました。また、道の駅とおもちゃ美術館のコンセプトと魅力度調査を実施しました。

※道の駅 工事の様子（9月中旬）

道路橋梁維持費･道路施設修繕事業･地方道路交付金事業　5 億 1,119 万円

（うち地域振興策１億 1,082 万円）

町道や橋梁、トンネルといった道路施設では、老朽化に伴う影響が数多く発生しています。これらの維持・補修・修繕を計画的に行うことで町民の皆様の通行の安全を維持しています。

学校教育改善重点推進事業　6,482 万円

令和２年度に引き続き学力向上、不登校対策を実施するため、特別支援員の加配措置・研修を実施しました。また、基礎学習支援員（すまいるーむ）を配置したことで特に小学校では落ち着いて授業を受けることができるようになっています。

その他、保小連携プログラムの実施、発達障害（傾向）の子ども（及び保護者）支援の実施、PBL（課題解決型学習）やプログラミング的思考教育の実施など学校教育の改善を図るよう取り組みました。

◆新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、特別定額給付金の支給をはじめ、学校等へ感染防止対策を講じるほか、地方創生臨時交付金等の国庫支出金を活用し、様々な事業を行いました。主な事業は次のとおりです。

高度無線環境整備推進事業　1 億 4,694 万円

新型コロナ感染症拡大に伴う人々の行動が制限される中、非対面・非接触での生活様式に対応するため、光ファイバの整備を行う事業者に対して補助金を交付しました。

地域経済活性化応援事業　9,561 万円

コロナ禍の影響を受けた町内事業者への支援策と合わせた消費喚起を目的に、プレミアム付商品券事業と商店街スタンプラリー事業（さかわスタンプまつり）、新規事業支援事業を実施しました。

チーム佐川支えあい事業　4,600 万円

佐川町社会福祉協議会が行う「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金事業」の原資の一部として補助金を交付。所得が減少した事業者及び世帯に対して支援を行うもので、町民の皆様からも広く寄付を募り、町民みんなで支え助け合う制度として、給付金を支給しました。

予防接種（新型コロナワクチン）事業　7,265 万円

新型コロナウイルスのワクチン接種（医療機関での個別接種と健康福祉センターかわせみでの集団接種）を行いました。

◆ふるさと寄附（納税）についてのご報告

ふるさと寄附は、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町のPRや自主財源確保につなげています。令和３年度も多くの佐川町ファンの方に応援していただき、寄附受入額は前年度比47%増となりました。全国の方の目に触れる機会が増加し、町のPRを図ることができました。

令和３年度の寄附金総額
３億 4,919 万 6,648 円

令和３年度の寄附金件数
２万 1,788 件

令和３年度にふるさと寄附金を活用した事業

教育･文化･スポーツの振興に関する事業　1,791 万円

佐川小学校大規模改修工事

交通安全･防犯･防災･減災の推進に関する事業　1,861 万円

道路橋梁維持費（三野地区～上郷地区までのガードパイプ更新）

産業･観光の振興に関する事業　892 万円

佐川町道の駅基本計画アドバイザー業務委託／道の駅財団法人補助金

医療･福祉･子育ての充実に関する事業　3,547 万円

龍王公園改修工事

“まちまるごと植物園”への活用

植物学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを進めています。

“植物のまち”として、さらに取り組みを展開していくために、寄附金のうち100円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただいています。

令和３年度人気のお礼品 申込件数ランキング

第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
麦藁焼 特選鰹のたたき	フルティカトマト	ブルーベリー	旬の季節の お野菜定期便	さかわの地乳